

2023 年度ゼミ合宿報告書

日時：2023 年 9 月 19 日（火）～9 月 21 日（木）

場所：COFFEE HOTEL Soundwave（神奈川県藤沢市）、藤沢市、鎌倉市

参加者：菅谷研究室 12 名（3 年生：5 名，4 年生：6 名，教員：1 名）

菅谷研究室（現代社会学科メディア文化メジャー）では、専門教育・研究指導の一環として、毎年夏に合宿形式のゼミを実施している。専門分野・研究に関する学びの深化と、学年を超えたゼミ生相互の親睦を深めることをテーマとし、4 年生が中心となって企画・実施している。今年度の主な内容は以下のとおり。

◎卒業研究の進捗報告：

4 年生が取り組んでいる卒業研究の進捗状況を口頭発表形式により報告した。発表後の質疑応答・議論を通じ、中間発表会までに解決すべき課題や、卒業論文執筆上の留意点を確認した。宿泊所内でのゼミ実施のため、時間的制約を気にすることなくディスカッションすることができた。

◎情報デザインの観点で市内各所を見学：

藤沢市内および隣接する鎌倉市内各所を、情報デザインの観点を意識して見学・写真撮影し、宿泊所に戻ってから各自の着眼点や分析内容について写真を共有しながら発表・説明した。その後、質疑応答や議論を交えて相互評価をおこない、情報デザイン活用に関する実践的理解を深めた。藤沢市、鎌倉市は、近年、オーバーツーリズムが問題視されるほど国際的な観光都市となっている。そのような場所で、観光客や外国人に向けた案内・配慮等の面で情報デザインがどのように活かされているのかについて、様々な視点から意見交換ができた。学内・教室内のみでは学ぶことが難しい現地視察を交えた貴重な学びの機会となった。

◎ゼミ活動の活性化に向けた検討：

ゼミ活動をより一層活性化するため、学年の垣根を超えた交流方法や、質疑応答・意見交換を活発にする方法に関する検討をおこなった。その結果、(1)コミュニケーションツール Discord を利用した資料の共有や意見交換、(2)定期的な交流イベントの実施、について合意し、後学期から実施することとなった。

なお、企画・手配・しおり作成などの事前準備やゼミ活動内容も含め、合宿全般を通じて学生の主体的活動により計画・遂行された。そのため、研究・学術面の理解深化のみならず、コミュニケーション力、協調性、企画・実行力などの育成につながる、幅広い総合的な学びの機会としても充実した合宿であった。

合宿中の写真



研究報告（宿泊先）



意見交換（宿泊先）



「英語とコインによる利用手順の説明」
情報デザイン要素（藤沢市・鎌倉市）



「英語併記による地震津波時の避難案内」
情報デザイン要素（藤沢市）



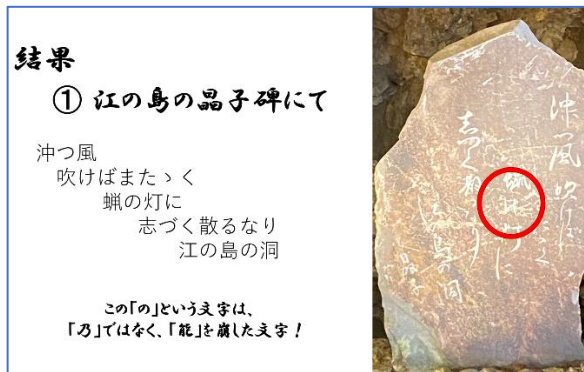
「QRコードによる解説へのリンク」
情報デザイン要素（藤沢市）



「QRコードによる駐車情報へのリンク」
情報デザイン要素（藤沢市）



「球型水槽の照明演出」
情報デザイン要素（藤沢市）



「変体仮名表記による演出効果」
情報デザイン要素（藤沢市）



「電子メディア活用によるユーザ体験」
情報デザイン要素（藤沢市）



「矢羽根デザインによる案内」
情報デザイン要素（藤沢市）



江島神社（藤沢市）



鶴岡八幡宮（鎌倉市）